



山田こうじです！

2021年5月30日

NO.259

事務所：西院上花田町36-3

電話：222-3728

携帯：090-3970-4701

山田こうじ共産党検索

コロナ禍から市民の命を守れ！18次の申し入れ



20代男性
自宅療養中死亡

去る5月6日、京都市在住の20代男性が新型コロナウイルス感染症肺炎推定により自宅療養中に亡くなりました。年末年始に自宅療養中に2人の方が亡くなった際、京都市長は「教訓」にするとしたにもかかわらず、今回の事態に至ったことは極めて重大です。今回亡くなった男性は、4月29日に発症し、5月2日のPCR検査によって感染が判明。入院調整をかけたものの、自宅療養となりました。5日には電話による健康観察を予定していましたが連絡がつかず、その夜かけつけた消防・警察によって死亡が確認されたというものです。

緊急申し入れを実施！

若者も急変し重症化するといわれる変異株が拡大する中で、入院コントロールセンターの判断や京都市保健所の責任が問われています。今回の事態も含め総点検を行い、抜本的に改めるべきです。こうした中、日本共産党京都市会議員団は5月17日、以下の内容で緊急の申し入れを行いました。

- ① 京都府が公表している病床使用率や空き病床数の公表を、重症・中等症・軽症別に「受け入れ可能数」「稼働数」を明らかにし、実態に即したものにすること。命を守るために病床をさらに確保すること。
- ② 感染者が入院できない場合には、原則として宿泊療養施設に入所するよう迅速な対応を行うとともに、抜本的な拡充をはかること。宿泊療養施設に医師を配置し、容体の急変が予測される場合に直ちに入院できるように対応すること。宿泊療養施設の食事の改善、全員へのパルスオキシメーターの貸与等を行うこと。
- ③ 自宅療養を余儀なくされる方へのケアについては、現在の京都府の往診チームの体制を充実するとともに、区役所を含む全庁体制をとって、連絡がつかなかった場合や異変があった場合に、機敏かつきめ細やかに本人の安否確認がとれる体制を構築すること。食事を自分で作れない場合も想定し、弁当なども希望に応じて配送できる体制をとること。
- ④ 人によっては5日程度かかっている濃厚接触者のPCR検査を迅速に行うこと。濃厚接触者の健康観察についても、京都市として積極的に把握する体制と自宅療養者同様の支援が得られるように改善すること。

また、PCR検査を抜本的に強化し、市民・事業者に対して補償と一体的な協力要請を行うこと等を求めました。対応した危機管理官は、「20代の方の事例は衝撃を受けている。ホテル療養の確保、拡充を求めている。」などとコメントしました。

緊急！ 緊急！ 緊急！ 緊急！ 緊急！

第191回暮らしのなんでも相談会

暮らしにかかわるどんなことでも…
金融・債務の整理・相続・税金・労働・医療・健康保険料の支払い・地域要望等、どんなことでも結構です。

6月12日(土) 午後1時半～3時

会場 安井後援会事務所(安井小学校前)
主催 日本共産党市会議員 山田こうじ事務所 佐々木 義人 801-9379

まいごおまじ

山田こうじです！

NO.259

5月21日、5月市会代表質問当日は朝から雨が降っていました。

代表質問の朝は、毎回恒例で市役所東門前で自治体要求連絡会の宣伝行動が行われます。

京都総評や年金者組合の代表の方と共に、聚楽保育所の保護者の方が訴えられました。

0歳の第2子をお姉ちゃんに通っている聚楽保育所に入ればよいと思っていたところ突然の廃止に、不安と怒りの訴えでした。

何より、説明会での京都市の姿勢があまりにも不誠実です。新規入所募集をしないことによる、異年齢交流が出来なくなるの不安に「今起こっていることではない。おいおい考える」との答えにあきれたそうです。まさに、廃止ありきで子どもや保護者は切りすての対象でしかないことがよく分かった。説明会だったそう。廃止条例は撤回！